

特殊用途用プロバイダ非依存アドレス割り当てサービス提供の検討状況について

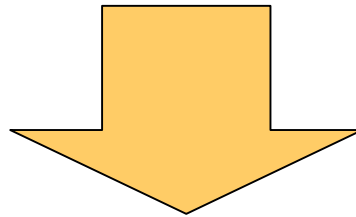
(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 鈴木由佳

もくじ

1. 前回の報告からの進捗
2. 今後の予定
3. 参考資料
 1. サービス概要案の紹介
4. Q&A

前回の報告からの進捗(1)

- 2003年7月 JPNIC-OPM
 - 特殊用途用PIアドレス割り当てサービス検討状況について報告



早期実施を望む声があり、3ヶ月以内に何らかの返答をすることになった。

(10月20日にIP-USERS MLに中間報告済)

前回の報告からの進捗(2)

- 早期実施
 - ➡ 既存の体制内で対応が可能と考えられるため、早期実施は可能と思われました。
- 実施時期
 - ➡ サービスを実施することも含めて、現在最終のとりまとめを行っている段階でした。

しかし

前回の報告からの進捗(3)

- ここ2週間のRIRの状況の変化
 - APNIC

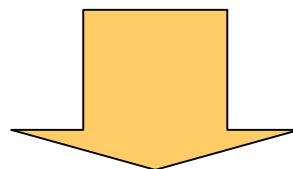
2004年2月のオープンポリシーミーティングにおいて、最小割り振りサイズを小さくする(/20→/21もしくは/22)ポリシー変更の提案がされる可能性があるらしい。
 - (IP-USERS #723)
 - ARIN

2003年10月末のミーティングで、マルチホームをする組織であれば、最低/22の割り振りもしくは割り当てが受けられるポリシーの提案がコンセンサス。
 - RIPE

最小割り振りサイズを縮小する提案が次回のミーティングでされる予定。

前回の報告からの進捗(4)

仮に、APNICにおいて、最小割り振りサイズを変更することになり、JPNICでも適用することになった場合



現在既にあるサービス範囲(IPアドレス管理指定事業者として割り振りを受ける)内で割り振りを受けられる組織の範囲が広がるのではないか

今後の予定

もう少し状況を見極める必要があると考え、2004年2月に開催される、APNICオープンポリシーミーティングの結果を待って、本サービスを実施するかも含めて検討をしたい



サービスの概要紹介

はじめに

これから紹介する概要は、現段階で予定しているサービス概要であり、今後の状況によっては変更される可能性があります。

サービス概要案(1)

- 以下の3種の特定期用途のプロバイダ非依存アドレスの割り当てサービスを提供
 - Multihoming
 - 小規模マルチホームを希望する組織への割り当て
 - 割り当て後一年間に/24~/22を必要とする組織
 - Internet Exchange Points
 - IXPのトランジットLAN用の割り当てを希望する組織への割り当て
 - 最小割り当てサイズ/24
 - Critical infrastructure
 - rootDNS、ccTLD、gTLD等のクリティカルインフラストラクチャーのネットワークを運用する組織への割り当て
 - 最小割り当てサイズ/24

サービス概要案(2)

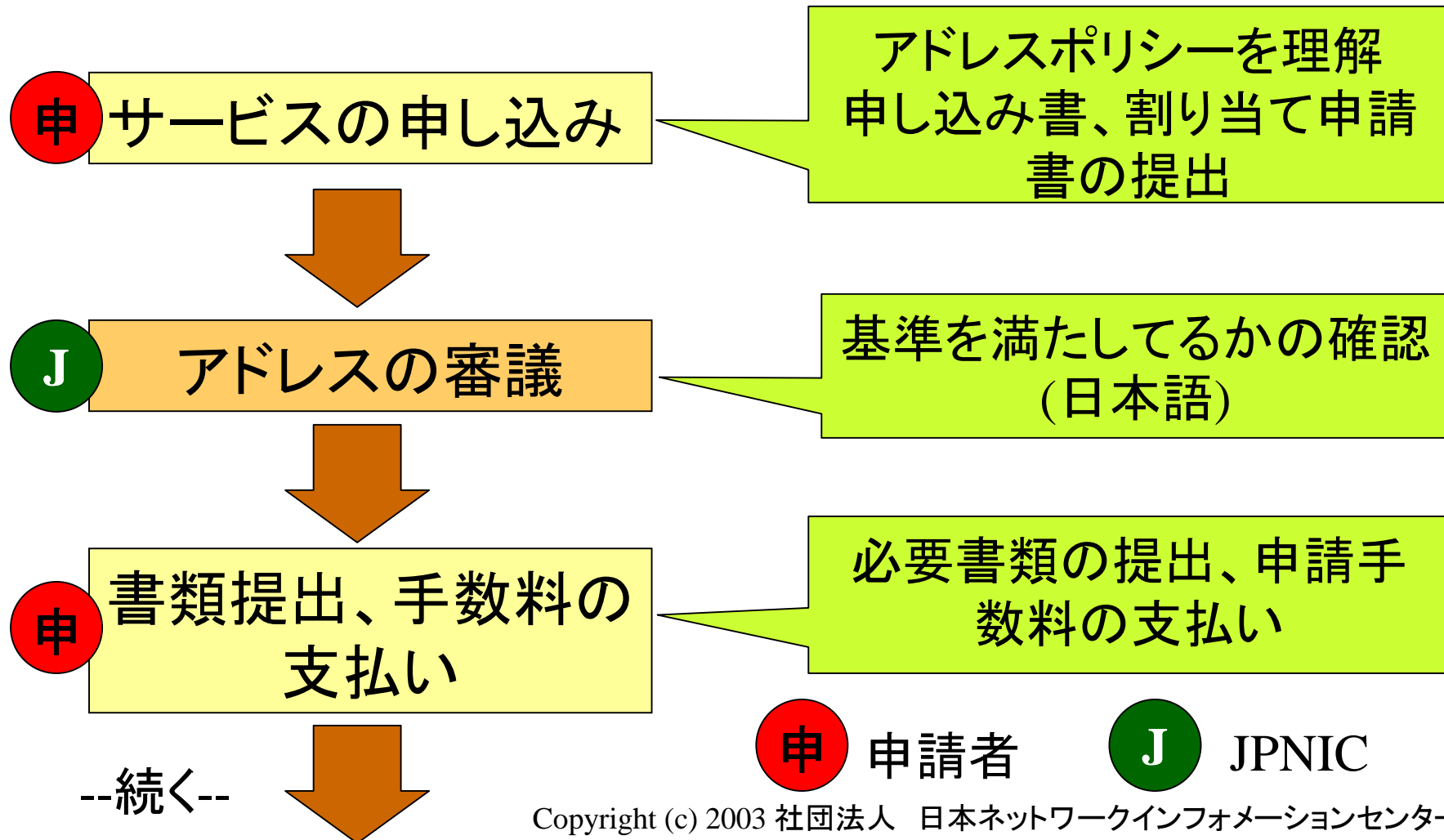
- サービス対象
 - 3種類の用途に用いるプロバイダ非依存アドレス割り当てを希望する組織(これらの用途以外のプロバイダ非依存アドレスの割り当ては行いません)

ご留意ください

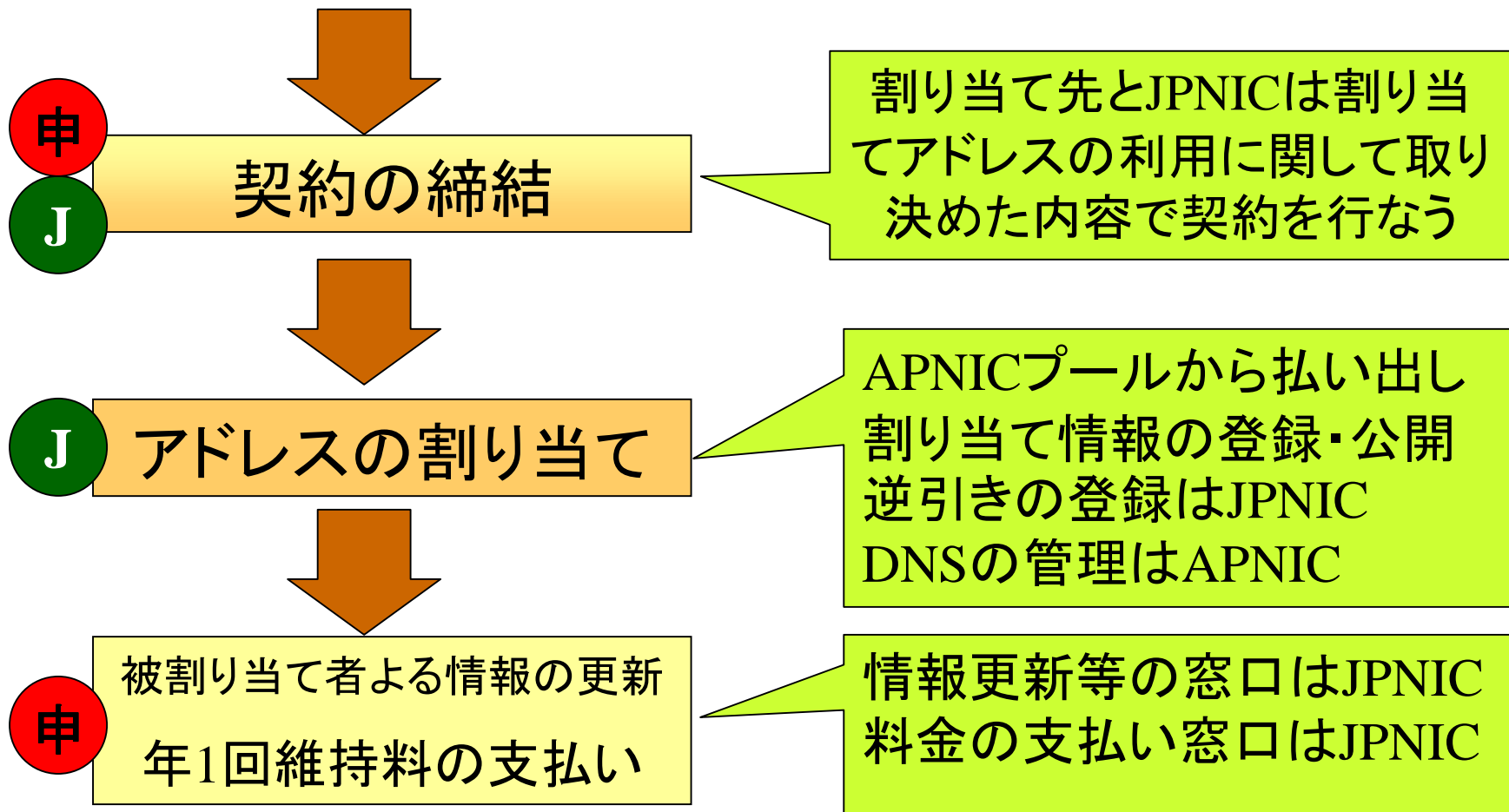
- 再割り当てはできません
 - 割り当てられた空間からさらに割り当てることはできない
- 一般的に、小さい空間になるほど、経路制御可能性は低くなるといわれています
 - JPNIC(レジストリ)は「一意性の保証」のみ

お申し込みいただく際は、ご留意ください

サービス提供の流れ



サービス提供の流れ(続き)



Q&A

